

29.6.14 読 売 (9)

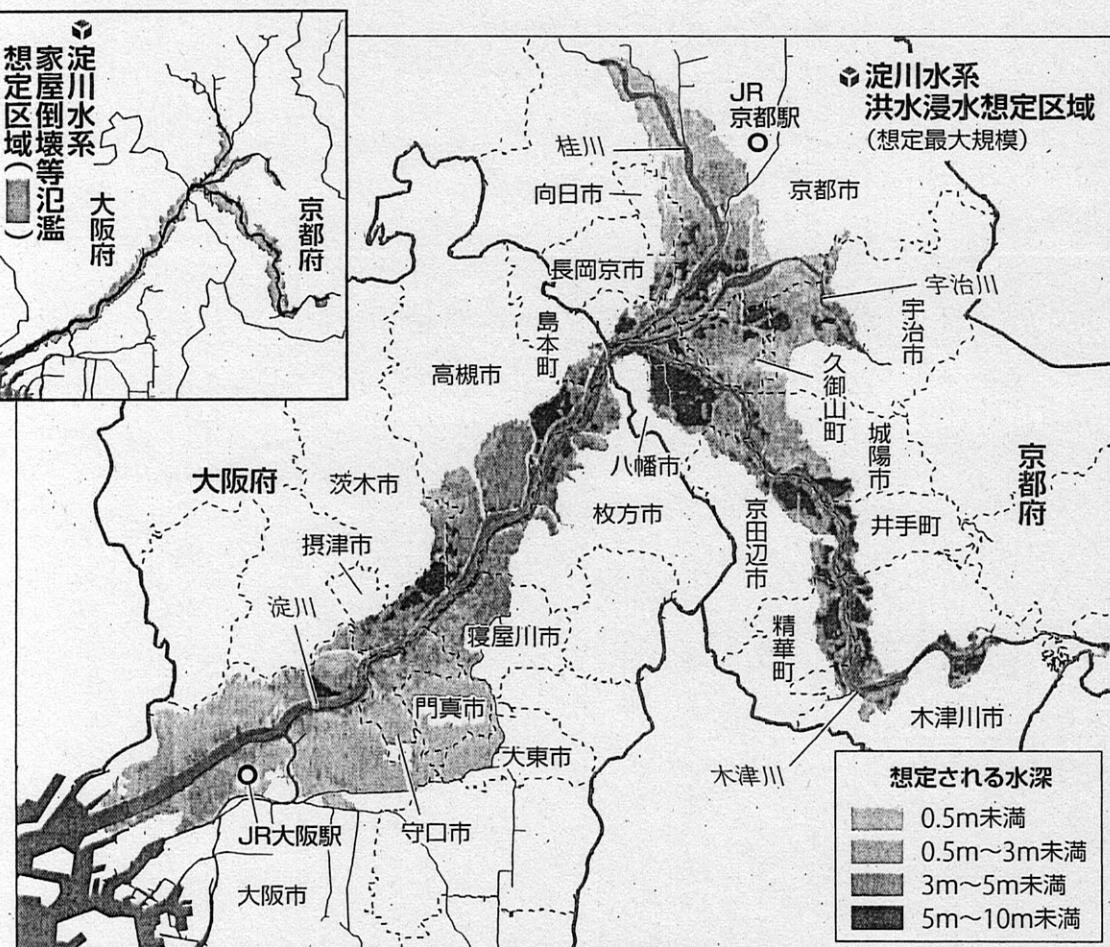
淀川水系洪水

大阪市最大7メートル浸水

国交省想定

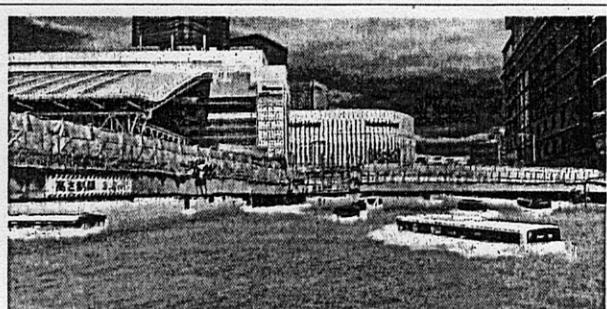
2府27市町で被害

国土交通省近畿地方整備局は14日、大阪、京都両府を流れる淀川水系で最大規模の洪水が起きた場合の浸水想定区域を発表した。浸水するのは2府27市町で、深さは大阪市内で最大7メートルを超えた。JR大阪駅周辺でも2・5メートルとなつた。堤防決壊時に住宅が流されるなど危険性が高い「家屋倒壊等氾濫想定区域」には、府17市町が含まれた。



高槻など17市町 家屋倒壊の恐れ

同省は2015年9月の関東・東北豪雨などを受け、国が管理する全国109水系の浸水想定の見直しを進めている。淀川水系については淀川、宇治川、木津川、桂川の4河川を対象に、想定雨量は1000mmに1回程度の確率で降る時間360分で計算した。浸水の最大の深さは下流の大坂市旭区で7・2メートルと定められ、JR大阪駅周辺では約2・5メートルとなる。



避難ビル指定や訓練 各自治体対策

淀川水系の浸水被害については、流域の各自治体で対策が進められている。近畿地方整備局は今回、大阪市内に関し、東淀川区と淀川区で各10・3平方キロメートルで浸水被害が起きると想定。これまでに大阪市は、

淀川の水害に備え、公共施設のほか、民間のマンションなど2763棟（5月末現在）を「水害時避難ビル」と指定している。

都心部の地下街では、浸水で多数の死傷者が出る恐れがあり、JRなど各鉄道会社やビル事業者などと協力して今年3月までにJR大阪駅周辺などの避難計画をまとめ、官民連携で避難訓練も実施している。

大阪府枚方市危機管理室は2年前から、市内全戸に浸水被害区域を示したマップを配布。「浸水被害エリ

アは以前とほぼ同じだが、づいて想定雨量を再計算し、前回想定（2002年）より100倍細かい区画で浸水地域を割り出したところ、約50平方キロメートル縮小した。家屋倒壊等氾濫想定区域は、大阪府内では大阪市や高槻市、摂津市など7市町、京都市内では京都市、八幡市など10市町に設定された。人命への危険が高く、自治体が作成するハザードマップに反映される。

同整備局淀川河川事務所は、「地盤の低い淀川流域には人口や企業が集中し、壊滅的な被害が発生する。大雨が予想される際には、早期に避難するよう心がけてほしい」としている。想定区域の資料は、同事務所のホームページ（<http://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/index.php>）で掲載している。

JR大阪駅周辺の浸水被害のイメージ。最大で約2・5メートルの浸水を想定している。（近畿地方整備局作成）

JR大阪駅周辺の浸水被害

被災想定がより詳細になつた。市民への周知徹底を図りたい」としている。

同府寝屋川市は治水対策として、小中学校26校のグラウンドに雨水を一時的にとどめ、排水が集中しないよう、グラウンドを20～30センチ掘り下げて雨水をためやすくする事業を進めている。昨年度までに21校で整備し、2019年度中に全てで完了する予定という。

今回の発表で示された家屋倒壊等氾濫想定区域に含まれる同府摂津市に住み、地域の自治会防災委員長を務める森義明さん（68）は「これまで以上に、住民に洪水の怖さを広く伝えていくことの大切さを感じた。改めて避難の準備について考えていただきたい」と話した。

淀川水系浸水 13市町に

「1000年に一度」級豪雨
此花など最長18日

国土交通省近畿地方整備局が14日に発表した淀川水系の大規模洪水予測では、「1000年に一度」級の豪雨が降った場合、府内の浸水面積は13市町の144平方キロに広がるとの試算が示された。水が弓ヶ島まで大阪市此花、西淀川の両区では18日余りかかる、高槻市などの中流域でも14日程度かかるという。流域に暮らす人は、自宅や職場での浸水予測の深さを知り、いざという時の避難ルートを意識しておく必要がある。

避難ルート意識必要

2015年の水防法改正に基づき、試算された。想定される最大級の「24時間360ミ」の降雨があり、同水系約230か所で堤防が決壊した、とのケースで考えられる最も深刻な被害

府内の市町別で、浸水面積が最も広くなるのは、下流域の大阪市の62平方キロ。中流域では高槻市が21・2平方キロと広く、門真、守口、枚方の3市も10平方キロ超と

市町区名	浸水面積 (km ²)	最大の 深さ(m)	平均の 深さ(m)
都島区	5.2	5.5	2.5
福島区	4.0	5.1	2.9
此花区	2.4	5.7	2.9
西淀川区	7.0	6.1	2.3
東淀川区	10.3	7.0	3.3
旭区	5.2	7.2	2.4
城東区	5.2	4.0	2.0
淀川区	10.3	7.0	1.9
鶴見区	5.7	4.6	1.7
中央区	0.0	2.6	0.7
北区	6.6	6.1	2.3
	62.0	7.2	2.4
豊中市	0.0	1.7	1.4
吹田市	0.3	3.4	2.2
高槻市	21.2	8.0	3.9
守口市	11.0	7.2	2.8
枚方市	10.7	7.5	3.5
茨木市	2.6	5.4	3.2
寝屋川市	9.5	7.3	3.0
大東市	4.4	3.9	2.1
門真市	12.2	4.7	1.8
摂津市	8.2	7.3	4.7
東大阪市	0.0	1.2	0.6
富木町	1.9	5.6	3.1

浸水の最大の深さは、13市町のうち8市町で「（自宅などの）2階部分も水没する」目安の5㍍を超えた。高槻市の8㍍が最も深い想定で、これに枚方市の7・5㍍、寝屋川、摂津両市の7・3㍍が続く。大阪市でも旭、東淀川、淀川の3区で7㍍超となつた。



枚方市側（手前）から望む淀川。堤防の向こうには高槻市の人口密集した市街地が広がる

市は14・85・14・5%かかるとされた。50%の浸水があると、ドアにかかる圧力は100キロ・メートルに上るとされる。

住宅が押し流されるなどして人命に危険が及ぶ「家屋倒壊等氾濫想定区域」も府内22平方キロが初公表された。大阪市が全体の約3分の1を占め、ほかに高槻、摂津、枚方、守口、寝屋川、島本の各市町の区域が入った。

中流域の中で最も深刻な想定が示された高槻市では

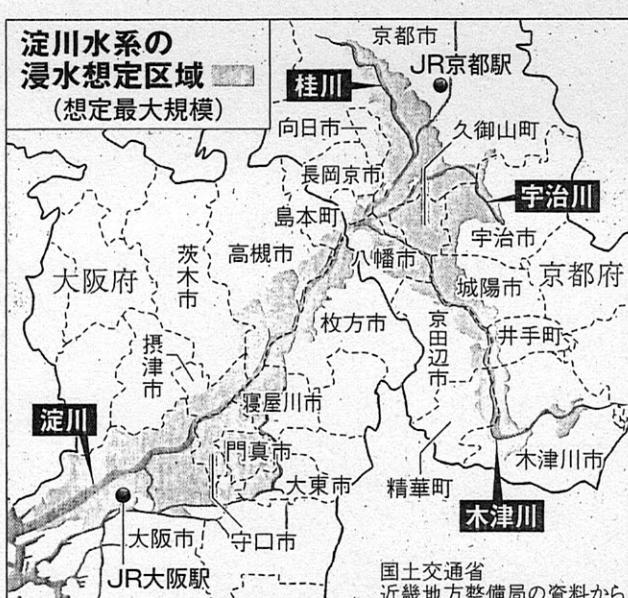
近く、浸水予測区域を記し、
たハザードマップを市内全戸に配布する。河川の氾濫に加え、府指定の土砂災害警戒区域なども反映させ、約10年ぶりに改定した。

同市下水河川企画課は、「市民には淀川の怖さを感じてほしい。いつ発生するか定かでない地震と比べても、洪水は事前の備えに臨みやすい」と呼びかけた。

大阪市は今回の想定を踏まえ、避難勧告などの発令の仕方を見直す考えだ。

2府17市町で 家屋倒壊恐れ

淀川水系氾濫 高槻市8メートル浸水想定



多発を受けて平成27年に改正された水防法に基づき、想定雨量をこれまでの「24時間で500ミリ」から「24時間で360ミリ」に改め、14年公表の浸水想定区域を見直した。

家屋倒壊の想定区域と浸水継続時間は今回、初めて公表した。

27市町の浸水想定区域の面積は、京都府内約121平方キロ、大阪府内約144平方キロの計約265平方キロ。シミュレーション精度の向上で前回の316平方キロより減少した。氾濫により家屋が流される危険のある地区は、京都市伏見区や京都府八幡市、大阪府高槻市など17市町で計約56平方キリに及ぶ。

国土交通省近畿地方整備局は14日、京都府と大阪府を流れる淀川水系の河川が「千年に1度」の確率で降る大雨で氾濫した場合の新

たなシミュレーション結果を公表した。両府の27市町で浸水し、うち17市町で家屋が押し流されて倒壊する恐れがある。大阪市の淀川河口部周辺は50㍍以上の浸水が最長18日間続くとした。
対象は淀川、宇治川、木津川、桂川。ゲリラ豪雨の

浸水の深さは京都府木津川市で最大約9m、大阪府高槻市で8mなど。JR大阪駅周辺でも最大2・5mになるとした。

29. 6. 15

毎日

府議会 改革度初の1位

早稲田大学マニフェスト研究所（顧問・北川正恭元三重県知事）

同研究所による「府議会は高校生を対象にした府議による出前授業のほか、政務活動」

調査は全国の「議会」にアンケートを送り、1347議会（回

会の2016年度の改

革度ランキング」議会

会が全都道府県議会の

改革度調査」を公表し

た。府内からは、「府議

象の議会報告会の開催

や陳情者による議会で

の意見陳述などが認め

られた。堺市の議会で

機能の強化に向けた取

り組みなどを点数化し

てランキング化してい

る。

【山下貴史】

早稲田大学マニフェスト研究所（顧問・北川正恭元三重県知事）

同研究所による「府議会は高校生を対象にした府議による出前授業のほか、政務活動」

調査は全国の「議会」にアンケートを送り、1347議会（回

会の2016年度の改

革度ランキング」議会

会が全都道府県議会の

改革度調査」を公表し

た。府内からは、「府議

象の議会報告会の開催

や陳情者による議会で

の意見陳述などが認め

られた。堺市の議会で

機能の強化に向けた取

り組みなどを点数化し

てランキング化してい

る。

【山下貴史】

29. 6. 15

毎日

此花、西淀川浸水18日間

国土交通省近畿地方整備局は14日、大阪府と京都府を流れる淀川水系の最大規模の洪水浸水想定区域を公表した。2015年の水防法改正に伴い、1000年に一度程度の確率で降る豪雨を想定し、大阪市此花区と西淀川区の海拔ゼロメートル地帯で浸水は最大180cm間続く結果になった。堤防の決壟時に家屋倒壊の危険がある区域も新たに示され、大阪府の7市町22平方km、京都府の10市町33・5平方kmに達した。

淀川水系洪水想定

示され、大阪府の7市町22平方km、京都府の10市町33・5平方kmに達した。

相次ぐ豪雨被害を受けた水防法改正で、国管理の河川で浸水想定の見直しが進み、淀川、宇治川、木津川、桂川

も15年ぶりに新たな区域が示された。

淀川水系の基準水位観測所がある大

阪府枚方市より上流域で、從来は2日

間で500mmの雨が降った場合を想定

する。

【山下貴史】

示され、大阪府の7市町22平方km、京都府の10市町33・5平方kmに達した。

相次ぐ豪雨被害を受けた水防法改正で、国管理の河川で浸水想定の見直しが進み、淀川、宇治川、木津川、桂川

も15年ぶりに新たな区域が示された。

淀川水系の基準水位観測所がある大

阪府枚方市より上流域で、從来は2日

間で500mmの雨が降った場合を想定

する。

【山下貴史】